

朋友

神奈川県立横須賀高校同窓会
会報 第88号



横須賀高校創立110周年をお祝いして

◆特集 10年間の会報表紙の変遷

◆10月8日(月・祝)

よこすか芸術劇場にて

Music Festival 2018開催

作編曲家・サクソ奏者 小林洋平(49期)



人生が音をつくる

作編曲家、サクソ奏者 小林 洋平さん (49期)

小さい頃からピアノやヴァイオリンを習っていたが、中学生になるとサクソに一気にのめり込んだ。横高の存在は大きかった。やりたいことをやりたいようにやらせてくれる環境だった。自分のやりたいことを否定されない、そんな横高生活は、音大への道を目指す気持ちを大きくした。

しかし、周囲のアドバイスもあり、物理学の道に進むことに。小学校の文集にも書いたくらい宇宙に興味を持っていたが、やはり、音楽はあきらめられなかった。

東京理科大で宇宙物理学を学んだあと、バークリー音楽大学の奨学生の試験にみごと合格。映画音楽科を首席で卒業した。「遠回りをしたようで、遠回りをしたとは思わない。人生で出会ったことの全てが音に表れるから。いろいろな物語のために音を紡ぐには、いかに様々な経験をしてきたかが大きい」と、多くの経験やつながりをつくることの大切さを語った。映画やドラマの音楽を数多く手がける。この8月6日、広島を舞台とするNHK「夕凧の街 桜の国 2018」でも音楽を担当。毎回、その物語の世界の住人となって一つひとつの音を紡いでいく。常に自分の経験と想像力で音楽を作ってきたが、この作品はそれだけではなかった。自分が知らない、知りえない原爆。莫大な数の本を読み、現地に足を運び、耳を傾け、生まれた音楽。大きな反響があった。

こうして音をつなげている小林さんは、この度、母校110周年を記念し、10月8日に開催されるMusic Festival 2018のコンサートディレクターとして人と人、音と音をつないでくれる。



被爆ピアノ収録時

桜の国 2018」でも音楽を担当。毎回、その物語の世界の住人となって一つひとつの音を紡いでいく。常に自分の経験と想像力で音楽を作ってきたが、この作品はそれだけではなかった。自分が知らない、知りえない原爆。莫大な数の本を読み、現地に足を運び、耳を傾け、



奪三振17個

高橋 巖さん (7期)



昭和28年の横高新聞



「昭和28年7月24日 横高新聞」そんな文字がきれいに整理されたファイルからおもむろに出てきた。全国高等学校野球神奈川地方大会の初戦を飾った記事が載っていた。(以下、一部抜粋)

高橋投手は恵まれた体格とその左腕からくり出す速球、きめ球のドロップは市工の強打者連を完全に抑え、与えた安打わずか二本、四球は三で奪った三振十七個というすばらしい投球を見せ市工を無得点に押し切ったのである。

これは、高橋さんの野球生活の思い出の一場面。小学5年生から野球を始め、良き師や先輩、仲間に恵まれて投げ続けてきた。「ボールの継ぎ目のほころびはよく縫ったものだ。練習で使う白球はピッチャーから使える。真新しいボールをにぎれたのは幸せ」と当時の練習の様子を語った。

1953年、横浜平和球場(現横浜スタジアム)で「全ハワイ高校選抜」と県内高校選抜「全神奈川」の18人が対戦した。高橋さんは、その中に唯一公立高校2年生からメンバー入りした。「9回から2番手として登板したが、10回2失点。相手はでかい」と体格の差を感じたという。

現役生には、「基礎体力があることが大事。よく走りなさい」と今後の活躍に期待した。

Look Look 朋友



後輩を医療の道へ

佐藤 靖洋さん (50期)



若松町のフリースペースにて在校生にアドバイス

東大病院などで診察しながら、東大大学院でがん免疫の研究に携わっている。高校生の時から医学部を志望していたが、少し回り道をして慶応大学理工学部に入學。その後、千葉大学医学部、研修を経験して、現在大学院4年生。

医療への道を歩むうち、「横高の後輩にも医療の道に進んでもらいたい」と思うようになった。そんな思いを抱いている時、昨年の横高未来ナビの講師の話が来た。それがきっかけで、この4月から横高の新たなプログラム「Study Support for Medical College」で月1回、医療系志望の学生に講義、ワークショップを行う。現在1年生から3年生まで約15人が参加。「大人になると“公平”はない。受験ほど公平な競争はない」と高校3年間の努力の大切さを語る。

「卒業生が現役生を指導することに朋友会のフリースペースを利用できるのは、朋友会の新しい活動方針の表れだ」と語り、現役生に個別サポートも行っている。

2018年度 朋友会に関心をもってもらいたい

朋友会役員等紹介

[役員]

会長 大竹英恵 (34期)
副会長 大谷淳子 (22期)
副会長 大石貴司 (32期)
副会長 松浦直三 (32期)
副会長 八田聡 (40期)
会計 山王成彦 (34期)
会計 堀川敏毅 (39期)

[常任幹事]

阿部昭一 (4期)
中村佳晃 (9期)
大川謙一 (18期)
泉澤泰範 (24期)
千葉茂 (28期)
二本木岳彦 (32期)

藤平多花子 (38期)
八矢信宏 (39期)
川口泰弘 (43期)
鈴木守 (50期)

[その他役職]

名誉会長 九石美智穂 (31期)
相談役 白根貞夫 (中30期)
相談役 遠藤正敏 (4期)
相談役 松生渾 (8期)
相談役 山田茂雄 (11期)
監事 石井正士 (19期)
監事 奥山寛樹 (22期)

会員の皆さんが主役

会員の皆様にはいつも朋友会にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。2017年度に会長に選ばれ、「つくる つながる 朋友会」を合言葉に、時代に合わせた新しい組織をつくり、すべての期がつながる活動をスタートしました。

そのために、朋友会がずっと続けてきた“懐かしむ”同窓会を続けながら、10,000人以上いる現役世代へとつながりをつくっていくのが必至と思い、現役で活躍されている会員も「楽しく参加できる場」をつくることを考えてきました。

2018年度は、「つなげる ひろげる 朋友会」を合言葉に、横高卒業生みんなの力で、つながってきたネットワークを、さらにひろげていかれる朋友会の活動を目指していきます。その1つが、10月に開催されるMusic Festival 2018です。母校創立110周年を記念し、会員みんなが参加できるメインイベントです。このような活動を通して横高卒業生が繋がっていることを実感していただき、会員の皆さんに関心をもってもらえる活動をおこなうことが2018年度の朋友会の大きな役割と思っています。

会員の皆さんがいつでもどこでも楽しく参加できるように、ホームページも公開しています。是非ご活用いただきたいと思います。

役員一同、会員の皆さんが主役の朋友会にしたいと思えます。どうぞ、よろしくお願い致します。



会長
大竹 英恵
(34期)

会則の主な改正点

- <事務所> 横須賀市若松町になりました。
- <会員> 「特別会員」がなくなりました。
- <各期代表> 各期から若干名選出します。
- <会費> 隔年で2年分ではなくなりました。
- <会計年度> 「7月1日から翌年6月30日まで」になりました。

会員の活躍や活動を伝え合う

2018年度総会報告

2017年度3月21日の臨時総会にて、23年間続いてきた会則の改正が行われました。会計年度が変わったことにより、4月1日から6月30日までという特別年度で、6月9日に文化会館で特別年度総会を行いました。特別年度総会では、会則の改正により、出席会員だけでなく、初めて各期代表が総会に出席することになりました。

2018年度総会は、9月2日(日)13時からセントラルホテルにて行われました。(1)特別年度事業報告 (2)特別年度会計報告 (3)特別年度会計監査報告 (4)2018年度事業計画 (5)2018年度予算がすべて承認されました。

大竹会長のあいさつでは、まず朋友会への会員の参加と会費納入の現況の話がありました。そして、「世界中で活躍している現役が多くいることは、横高卒業生、そして在校生にとって、大きな財産。小さくても大きくても、こうした会員の活躍を会員に伝え合うことができるようにしていくのが朋友会の役割。こうした人材を輩出してきた横高に誇りを持ち、卒業生の皆さんが主役になって活動をしてもらえることを願います」と、朋友会の新たな活動を実感させる言葉がありました。

会員の参加を広げる活動のために

2018年度 予算(単位：円)	
前年度繰越金	6,823,988
収入 維持会費等	7,404,350(入会金、寄付含む)
支出 事業費	5,110,000(総会、懇親会他)
オフィス運営費	2,280,000(家賃、事務用品他)
110周年記念事業	550,000(記録誌、音楽祭)
その他	420,000(振替手数料、他)
予備費	50,000

※2017年度、特別年度の決算の特記事項

- ・事務所移転費用(約110万)
- ・4月臨時お知らせ配付(約200万)
- ・セミナーハウスボイラー設置費用(約183万)

演奏を楽しみ、和やかに歓談

総会後の懇親会

9月2日(日)の総会后、15時から17時までセントラルホテルにて懇親会を行いました。82人(ゲスト含む)が参加し、Music Festival 2018にも出演する49期小林洋平さんと吹奏楽部OBの演奏を聞いて、和やかに歓談が行われました。



だれでも参加しやすい交流の場

新年懇親会

日 時：2019年1月27日(日) 15:00~17:00

場 所：セントラルホテル

参加費：未定

※詳細は、ホームページに掲載します。

お問い合わせは、朋友オフィスまで。

次号会報「朋友」第89号発行予定日は 2019年10月

寄稿については7月末日までに朋友オフィスに連絡をお願いします。[文字数200字以内、写真1枚]

在校生への支援

横高未来ナビの講師

◆日時：2018年10月27日(土) 11:00~12:00

◆場所：横須賀高校

◆対象：高2生および学校へ行く週間参加者

◆講師：8名



2017年度の講師

指揮者は志摩尚平さん(24期)

第13回青春かながわ校歌祭

日 時：2018年10月21日(日) 11:30 開演

場 所：神奈川県立青少年センター

参加方法：第3回校歌祭練習にご参加ください。

第1回 9月23日(日) 済

第2回 9月30日(日) 済

第3回 10月14日(日) 14:00~16:00

※参加の連絡は不要です。

練習場所は横高セミナーハウスです。

今年は、指揮 志摩尚平さん(24期)、ピアノ伴奏 宮城摩理さん(43期)で新たなメンバーを編成して参加します! 出演時間は13:39からの予定です。



2019年度総会予定

日 時：2019年9月1日(日) 13時から

場 所：セントラルホテル

※詳細は、8月上旬に各期代表に案内し、ホームページに掲載します。各期代表についてのお問い合わせは、朋友オフィスまで。

在校生支援

- ◆前年に引き続き「キャリアガイダンスルームでのコピー機(リース等)」「赤本」を援助。
- ◆卒業生に卒業証書ホルダー(予定)を贈呈
- ◆セミナーハウスボイラーの寄付



校史資料室の企画、資料保存に協力

- ◆新入生オリエンテーションでの説明
- ◆文化祭に向けて、創立110周年記念の特別展示
- ◆資料保存、補修の協力



創立110周年を記念して だれでも楽しめる!

- ◆日時：2018年10月8日(月・祝)
開場 13:30 開演 14:00
終了 20:30 予定
- ◆場所：よこすか芸術劇場
- ◆備考：どなたでも、いつでも、入退場できます。
入場料無料です。

Music Festival 2018 10月8日(月・祝)

- ♪横高の創立110周年をお祝いして
- ♪横高卒業生が自由に集える場として
- ♪地域の皆さんも音楽を楽しめる場として



♪プログラム♪

- 14:00 ~ 岸本佳子 (69期 トランペット)
- 14:15 ~ 遠藤一成 (40期 ピアノ、自作自演)
- 14:30 ~ 松本理沙 (63期 サクソフォン)
- 15:10 ~ アンサンブル リノ (ピアノと管楽5重奏) *前沢実 (32期)、三浦隆昭 (38期)
- 15:40 ~ 東京フィルハーモニー交響楽団ホルンアンサンブル (ホルン4重奏) *大東周 (39期)
- 16:30 ~ 京浜 Jazz Explosion (ビッグバンド) *田村理 (56期)
- 17:10 ~ RUEED (59期 歌手) + 渥美幸裕 (ギタリスト)
- 17:40 ~ 小林洋平 (49期 作曲) + 斉藤直樹 (39期 俳優)
+ 矢部亮子 (40期 バレエダンサー)
- 18:20 ~ 山田姉妹 (ソプラノデュオ)
- 18:50 ~ 宮本史利 (47期 バリトン)
- 19:30 ~ 横須賀高校吹奏楽部 + 田中靖人 (サクソフォン)
+ 上野正博 (37期 指揮) + オザワ部長 (40期 トーク)

朋友会を知ってもらおう ~オブジェ作成~

2016年の文化祭では、朋友会Young Power PROJECT推進委員を中心に、映画「スカブロ」の矢城潤一監督(32期)の協力のもと、朋友会の活動を宣伝しました。

今年もMusic Festival 2018に出演するメンバーと吹奏楽部OB会に協力してもらい、朋友会の活躍する人材をアピールしました。

また、今年の文化祭での大きな目玉は有志によりオブジェを作成したことです。インスタ映え*のポイントとして多くの人に楽しんでもらいました。

朋友会では、校史資料室での創立110周年がわかる写真の展示も行いました。

* 写真共有サービス・SNSの「Instagram」(インスタグラム)に写真をアップロードして公開した際にひととき映える、見栄えが良い、という意味で用いられる表現。インスタグラムを念頭において写真写りが良いと述べる言い方。

横高文化祭 9月8日(土)・9日(日)



学生時代を思い出して、有志で作成

米寿目指して 4期

4月4日今年もまた4期の老人28名が元気に集まった。平成27年に「米寿を目指して頑張ろう」と魚藍亭を会場にして始めたこの集まり、今年もまた予定をしていたのだが残念ながら昨年8月に同店は閉店してしまったので、今回は三笠通りほど近い中華飯店に場所を移しての開催となった。

定刻正午阿部の司会、黙祷、献杯、そしていつものおりの服部の力強い開催挨拶で始まった。山倉の発声で乾杯後料理が運ばれ、いつものように自前で飲み物を注文し歓談しながらの食事が進んだ。頃合いをみて3分間スピーチとなり参加者全員がそれぞれにこの1年の病状や終活状況などを賑やかに語り合った。

締めは毎度ながら広瀬の坂東武者、エールと続き、最後は斎藤（豊）の来年、平成31年4月4日12時同じ会場で一人も欠けることなく再会をとの挨拶で締め括った。
(森田正巳 記)

「Y三会」 横中・横高 三期ミニ同窓会



三期同窓会は、昭和二十三年に喜寿の集いを行い散会しましたが、その後、六十余名の有志にて「ミニ同窓会、Y三会」として毎年、三月五日に、セントラルホテルにて開催してきました。今年も、去る三月五日（月）午後四時より五階エメラルドにて、車椅子で毎年出席の中村斉君夫人をまじえ、二十一名の参加三徳、八回目の「Y三会」を終えました。

会は佳山君の進行ではじまり、事務局、島田君よりの経過報告、藤井君の乾盃音頭で宴に入り、いつもの夏目君の手品を交え、参加者全員の近況報告があり、最後に「坂東武者」を元気よく合唱し、午後六時、石黒君の開会の挨拶で幕を閉じ、ミニ同窓会「Y三会」をこれで散会とした。

来年三月五日、午後四時より、若松町「お太幸」二階で「ミニミニY三会」を催すことになったが、どうなるか。
(島田一忠 記)

熱海・三島・沼津の旅 5期



眺めが素晴らしかった宿の同窓会

2017年9月7日〈午後2時半熱海駅集合〉に18人が集い、旅の本番が始まった。宿のホテルハートピアは山の中だが海が望めた。

夕食まではゆるりと温泉に浸かり、部屋で歓談。宴会は差しつ差されつと和やかに。

翌朝、貸切バスでまず〈三島スカイウォーク〉大吊橋から絶景を観賞。続いて沼津に向かい〈深海水族館〉で様々な珍魚に見入った。

昼食後〈ジャンボひものセンター〉でお土産を買い込み帰路に着いた次第。
(加藤純子 記)

八十四歳を祝う会 5期



2018年6月2日セントラルホテル5階で同期会が開催された。今年は同期生の年齢を配慮して、13時に行う事になった。司会は石川裕也(2組)山田(7組)両氏が担当。

参加者36名の集合写真後、物故者127名の御霊に黙祷、開会の言葉は大村氏、乾杯は潮木氏、その後会食・懇談になった。懇談中の話題は足腰の不調や病気の事が話題になっていた。懇談中に下記のお知らせや報告があった。

病院長の橋本氏から冊子と予防、石井敦氏から旅行会、山田から朋友会、立木・三上両氏から油絵のグループ展、加藤純子氏は文化祭のパッチワーク制作の話、石川氏から母校校史資料室見学の提案。15時半閉会。
(山田敏夫 記)

お知らせ「喜寿を祝う会」開催予定 13期

横高 13 期同窓会「喜寿を祝う会」のお知らせ
開催日時：2019年6月9日（日）17時より
場所：セントラルホテル

「喜寿を祝う会」発起人
連絡先 office@kenyoko-hyk.jp (朋友オフィス)



お知らせの詳細は、ホームページ内同窓会13期のページにあります。写真(左)は、前回2009年のものです。

佐藤春喜先生を招いて 44期3組



2017年11月25日(土)に、卒業25年を記念して、佐藤学級同窓会(44期)をよこすか平安閣に於いて開催いたしました。

当日は、佐藤春喜先生にご臨席いただき、同窓生30名が出席いたしました。

25年振りに再会した人もおり、思い出話に花を咲かせることができ、三次会のカラオケまで、とても楽しい時間を過ごすことができました。

次回は二年後に佐藤先生の定年退職を記念して同窓会を開催する予定です。(三宅竜二 記)

卒業30周年 40期学年同窓会



平成最後の夏☆40期の仲間との再会に感謝!

卒業30周年を迎えた40期は、初めての学年同窓会を8月11日にセントラルホテルにて恩師5人を含む116人が集まり開催いたしました。

思い出のムービー鑑賞、クラス別・部活別集合写真、校歌斉唱、最後は2組有志による坂東武者で大いに盛り上がり、次回の再会を約し閉会しました。

30年経っても変わらぬ絆を感じつつ、青春を共にした仲間との笑顔溢れる素敵なひと時を過ごすことができました。(幹事7組 淵脇健・六実(旧姓:内村) 記)

80歳を記念して最後の同窓会 7期

7月2日(日)ホテルハーバー横須賀で64名が参加し、昭和38年に8組の有志の力でスタートした7期会同窓会も今年で約半世紀も続いたが、アンケートや幹事会の意見も含め、80歳を記念に最後の同窓会となった。恩師の小川先生は「ダイヤモンド婚(60年)まであと3ヶ月です」牧野先生「いまの校長先生は教え子です」と47年間続いた同窓会をふり返り、最後は皆90歳まで元気で行こうと1本締めで閉会した。

(橘武 記)



お世話になった恩師の小川先生と牧野宣先生に御礼の言葉と記念品を送る、萩原敦子さん

将棋部50年記念誌刊行



このたび将棋部OB会では、50周年記念誌を刊行し、7月21日に横須賀中央のセントラルホテルで祝賀パーティを開きました。

朋友会大竹会長を来賓にお招きし、将棋部1期生から14期生まで、全国優勝メンバーも出席しました。記念誌を広げながら思い出を語り合い、全員参加のリレー将棋で締めくくりました。

記念誌をご覧になりたいOBの皆様、朋友オフィスまでご連絡下さい。

(26期 二神照明)

学校の帰りに エッセイ



「始まったぞ!!」— 6時のニュースも聞かずに登校していた耳への大声。学校からの帰り、平坂上で、爆弾を落とす米軍機を見た。

そして— 今冬、戦争でバラバラになった同窓生を探し、横中三四会の歴史を拓き、担ってきてくれた吉崎明君が、逝った。その2日前、10月15日の会の確認があったとの、世話役の一人鈴木典明君の報告が痛切だった。

誕生日の先後を交えて語り合った「横中生」は、吉崎君に謝し、改めて来年を約束した。

(中34期 榎本隆司 記)

100周年の記事
が掲載されて
いる101年目の
会報



70号

この10年で
変わっていく
会報「朋友」の
表紙の様子



74号



71号



75号



72号



76号



73号



77号



77号



87号



79号



80号



86号

Yokoko

横須賀高校創立 110 周年



81号



82号



85号



83号



84号



88号

「帰ってきたい母校」に

朋友会の皆様には、日頃より横須賀高校及び現役生徒へのご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。ご支援いただきましたセミナーハウスのボイラー工事は夏休み前に完了し、この猛暑に耐えての合宿では生徒、教員ともども感謝の念に堪えません。大変ありがとうございます。



校長
九石 美智穂 (31期)

今年度、横須賀高校は創立 110 周年を迎えました。この 10 年は少子化と社会の変化への対応から全国的な教育改革のさなかであり、今も速度を増しながら次々に変革の波がやってきています。本校では「横高アカデミア」「サマーセミナー」「姉妹校交流」など新しい取組を始め、平成 28 年度からはスーパーサイエンスハイスクールに指定され現在に至っています。夏休みに学校へ遊びに来た卒業生は、「大学へ行ってこの学校の良さがあらためてわかった。」「帰ってきたい雰囲気がある。」と話してくれました。どの時代であっても、主役である生徒が高校時代という時間の流れを味わい、「帰ってきたい母校」であり続けることの大切さを感じる頃です。

本年度もどうぞよろしくお願い致します。

110年の自由な校風とともに

再来年の大学入試改革を控えて、横高でもSSH、横高アカデミアやグローバル教育など多くの新しい試みが進められています。



PTA会長
廣川 浄之 (34期)

そのような中でも昔から変わらないものは、校舎やグラウンド、そして 110 年続く横高の自由な校風と真っ直ぐで元気な高校生たちの姿です。

体育祭、文化祭、部活動などいつもエネルギーギッシュな高校生たちをPTAもしっかりとサポートして行きたいと思えます。

朋友の皆様には施設整備やキャリア教育(未来ナビ)、奨学金など、日ごろから様々な援助をいただき、心から感謝申し上げます。

今後もあたたかなご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

データ

2018年3月卒業生数(70期) 277名
2018年4月入学人数(73期) 318名
部活加入率 93.4%

東大現役合格! 一合格実績一

母校教員異動 (敬称略)

【着任】

教頭 一柳浩一
理科 片桐正文
国語 酒井美名
社会 山田聡子
数学 前田圭大
英語 黒住実可
保体 佐藤 登
国語 立花大樹
数学 大野太幹
英語 福田尚人

【前任校】

大楠高校
津久井浜高校
横浜国際高校
横浜旭陵高校
三浦臨海高校
横浜南陵高校
逗子高校

【離任】

教頭 篠田 聡
国語 増田禎子
国語 前田貞久
社会 青山健児
保体 林 弘策
英語 関根伸一

【異動先】

横浜立野高校
横須賀大津高校
釜利谷高校
横浜清陵高校
松陽高校
茅ヶ崎高校

【退任】

数学 朝倉正行
理科 齊藤克美
数学 小林 裕
数学 飯田英夫

【異動先】

横須賀高校(再任用)
横須賀明光高校(再任用)

国立大学

大学名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
北海道	5	1	2
帯広畜産	1	1	0
岩手	1	2	0
東北	1	3	3
茨城	1	1	2
筑波	3	3	2
宇都宮	0	2	0
群馬	0	0	1
埼玉	0	1	2
千葉	1	3	3
東京	1	0	0
一橋	0	0	1
東京工業	0	1	3
お茶の水女子	0	0	2
東京海洋	1	2	2
東京外国語	2	1	1
東京学芸	1	3	1
東京農工	3	5	2
電気通信	1	0	2
横浜国立	11	14	11
静岡	0	4	0
山梨	0	0	1
信州	4	2	2
名古屋	1	1	2
三重	0	1	0
京都	0	0	1
鳥取	0	0	1
島根	0	1	0
愛媛	0	0	1
九州	0	0	1
長崎	0	1	0
京都工芸繊維	1	0	0

公立大学

大学名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
国際教養	0	1	0
高崎経済	0	1	0
首都大学東京	2	0	1
神奈川県立保健福祉	6	3	5
横浜市立	6	11	13
静岡県立	1	0	0
金沢美術工芸	1	0	0
大阪市立	1	0	0
兵庫県立	0	0	1

防衛大学校	2	1	1
-------	---	---	---

主な私立大学

大学名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
青山学院	24	26	41
学習院	14	13	14
慶應義塾	10	18	20
上智	13	13	18
中央	27	37	26
東京理科	15	31	27
法政	48	68	52
明治	49	81	83
立教	32	41	40
早稲田	36	48	50

※ 過去3年間の
主な大学合格状況です。
前年の既卒者も含まれます。

校外でも活躍する生徒

英語で考え、発信 ～1学年宿泊研修～

5月28日(月)～30日(水)に1年生宿泊研修を実施しました。今年から内容を一新し、SDGs(「持続可能な開発目標」Sustainable Development Goals、2015年国連採択)の課題解決をテーマに、外国人留学生(延べ26カ国の大学生、大学院生)と共に課題解決型のプログラムを実施。生徒10人に対し1人の留学生についてもらい、3日間全て英語で協議し発表を行いました。各国の環境・文化・習慣等を背景にSDGsの課題にどう向き合っているかを交流し、解決方法について積極的に意見交換しました。実施後の生徒アンケートでは、「これまでの価値観が変わった」「考え方が大きく変わった」76%、「英語の学習をもっとがんばりたい」91%と、生徒たちは大きな刺激を受けたようです。英語授業にもよい影響を及ぼし、7月実施の進研模試では近年にない好成績となっており、今後は楽しみです。

～SSHの課題研究で学会等へ参加!～

- 2018年電子情報通信学会 総合大会で発表(3/20)
- つくばサイエンスエッジで発表(3/23)
- NICT(国立研究開発法人情報通信研究機構)オープンハウス2018(6/30)で 優秀研究賞受賞
- グローバル・リンク・シンガポール2018(7/21～22)
- SSH生徒研究発表会(神戸)(8/8～8/9)で発表
- 日本看護学教育学会(8/28) 第28回学術集会 ナーシング・サイエンスカフェで発表
- みんなの理科フェスティバル(12月、横須賀市文化会館)

School Topics

- ◎ 平成28年度スーパーサイエンスハイスクール(文科省、全国で200校)に指定され3年目、全生徒が課題研究を1・2年生で行います。教科の授業においても論理的・多角的に思考、協議、発表する力が発揮されており、課題研究と教科の「知の循環」が生まれています。高大接続改革、新学習指導要領につながる教育活動を推進中です!
- ◎ 4月より55分×6(7)時限授業を導入
- ◎ 修学旅行は“北海道研修旅行”(5月)
SDGsの17テーマの課題をもとに、北海道の大地に触れながら研修実施。
- ◎ 陸上記録会を不入斗陸上競技場にて開催(6月)
- ◎ 8月にオーストラリアのペノア高校訪問(25名)
- ◎ インドネシアより留学生が1年4組へ。(9月～2月、アジア高校生架け橋プロジェクト)
- ◎ 9月8日・9日の文化祭スローガンは“青春横歌”
- ◎ 9月にマレーシアのスルタンイスマイル高校生来校(10人、横高生宅にホームステイ)
- ◎ その他、学校の様子は
ホームページにて



部活動報告

～現在活動している部活動の紹介です～

- ▷陸上競技部 [関東高等学校陸上競技大会]
女子やり投げ7位
女子800m出場
男子100m出場

[全国高校選抜陸上競技大会]

女子2000mSC優勝
3年西村明さん

「次の目標は
秋の駅伝です」

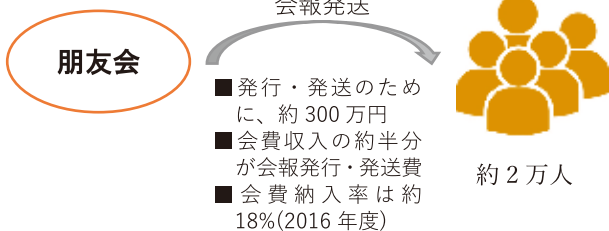


- ▷空手道部 [地区総体] 個人組手3位
- ▷弓道部 [国体予選] 7位
- ▷硬式テニス部 [地区高校テニス大会]
女子団体3位
男子ダブルス3位
- ▷サッカー部 [地区総体] 3位
- ▷水泳部 [地区総体]
女子自由形2000m3位
- ▷ソフトテニス部 [県総体]
女子ダブルス ベスト8
- ▷体操部 [地区総体] 男子団体2位
- ▷卓球部 [県大会] 出場
- ▷バドミントン部 [地区総体] 女子団体3位
- ▷バレーボール部 [地区学校対抗大会] 男子3位
[関東高校地区予選県大会] 出場
- ▷ラグビー部 [関東大会県予選] ベスト16
- ▷ダンス部 [地区ダンスフェスティバルJS]
出場
- ▷室内楽部 [3/25定期演奏会] はまゆう会館
- ▷吹奏楽部 [4/9定期演奏会] 市文化会館
[8/5サマーコンサート] 市文化会館
- ▷クイズ研究部 [TV「しゃかりき」] 出演
- ▷科学部 [3/10春光学苑実験教室]
[7/7 衣笠商店街夕涼み会実験屋台出展]
[8/17 衣笠中学校生徒対象実験教室]
- ▷英語同好会 [グローバルクラスメイト]
(SNSによる海外の高校生と国際交流)
- ▷剣道部 ▷硬式野球部 ▷ソフトボール部
- ▷バスケットボール部 ▷音楽部 ▷軽音楽部
- ▷演劇部 ▷光画部 ▷茶道部 ▷書道部
- ▷美術部 ▷漫画研究部 ▷新聞部 ▷放送部
- ▷マスB同好会

会報とホームページ

◆会報「朋友」は年1回10月に発行しています。

従来



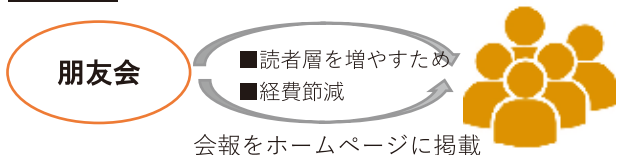
会報第87号(2017年10月発行)にて、会報不要者についてお尋ねし

- ①ホームページで十分
- ②高齢のため
- ③家族で複数届いている
- ④転勤等で読めない

等の理由で約540名の会報不要を受け付けました。

◆会報をホームページにも掲載します。

これから



- 会報を読むことが難しい人(海外在住、転勤が多い、字が小さくて読めない)にも、ネットでなら(字も拡大でき)会報を読んでもらえる。
- 会報不要者にはメールで「会報発行」および「会費納入のお願い」をお知らせする。

◆ホームページは、会員が見るだけでなく、皆さんが参加する場です!

「会員のひろば>会員のイベント・紹介」
 「会員が携わる会社お店一覧」
 「同窓会情報」「後輩ナビゲーター」等
 会員のネットワークを広げるためにも、是非、ご利用ください。

「ご実家に住所登録をしている方」「お引越された方」は、住所変更をお願いします。

「会報不要の方」「メールでのお知らせ希望の方」は、朋友オフィスまでご連絡ください。



朋友会公式ホームページはこちら

会費の納入をお願いします

◆会計年度が「7月1日から翌年6月30日まで」に変わりました。2018年度会費の納入をお願いします。納入方法は以下です。

- (1) 同封の払込票
- (2) ネットバンキング
- (3) 朋友オフィスで直接納付

ゆうちょ銀行のATM電信振替なら月1回までは手数料が無料になります

振込先
 ・銀行名 **ゆうちょ銀行**
 ・支店 **〇二九(ゼロニキュウ)店**
 ・口座番号 **当座0000782**

※振込者氏名の前に必ず「期」「クラス」を入れてお振込みください。会報の宛名の下に記載してある会員番号8桁でも構いません。

※高校卒業後4年間は会費免除です。
 ※年額1,500円です。複数年納入希望の方は、備考欄に「〇年度分」と記入の上、会費納入できます。

◆希望者には、口座振替(自動引き落とし)を受け付けます。朋友オフィスまでメールまたはファックスにて、「期」「氏名」「住所」「口座振替用紙希望」を連絡ください。2019年9月より口座振替を開始する予定です。

各期代表の登録

◆2017年3月21日の臨時総会にて、会則の改正が行われ、総会に「各期代表」と会員が出席することになりました。

※従来の会則にありました「各期幹事」はすでに不明の方が多く、会則の改正後は「各期幹事」はなくなりました。

◆各期代表は、各期で選任をお願いします。まだ学年同窓会を開催したことがない等で各期代表を決められない期は、仮に学年やクラスの代表者に登録していただくをお願いします。各期代表の役割は総会に出席し、伝達事項を各期会員へ連絡します。現在、各期代表不在の期は、14期、46期、52期、53期、54期、55期、68期、70期です。ホームページまたはファックスで登録できますので、よろしくお願い致します。

◆登録されている各期代表を知りたい方は、朋友オフィスにお問い合わせください。

会員の輪を広げるイベント募集

◆横須賀高校卒業生のネットワークが広がるイベントを募集中です。詳しくは朋友オフィスまでお問い合わせください。

(例) Music Festival 2018

- ・横須賀高校創立110周年をお祝いする。
- ・卒業生が集まれる場をつくり、地域の方にも音楽を楽しんでもらう。